

THE YOKOHAMA SPECIE BANK Ltd.

Reconquista 80

U. Telef. 416 y 4288 Avenida
Casilla de Correo No. 652

Buenos Aires

当座預金 年壹歩
小口當座預金 年四歩
定期預金 三月以上 年四歩五厘
 六月以上 年五歩
田代預金 横濱本店勘定用金定期預金
 但し掛帳ケル者ヨリ利率ヨクシメス
 六月以上 年六歩
郷里送金 取寄日爲替相場ヨリ換算シ送金致シマ
 (最近相場雑報欄ニテリス)
横濱正金銀行
 ブエノスアイレス支店
 レコンキスタ街八十番
 電話番号トウニオン
 アベニダ 〇四二六
 全 四二八八

亞爾然了時報

PERIODICO SEMANAL
EN JAPONÉS
REDACCION:
USPALLATA 981 Bs. As.

SUZUKI & CIA. LTDA.

SUZUKI GOMEI
KAISHA
KOBE, JAPON
SHIGESHI MOTO
REPRESENTANTE

San Martín 235
Buenos Aires

U. T. 1755 Av.

日本花店
 ヲクニシ街二二二六
 電話一五三二二二
蝶屋商店
 コリエンテ街八三五
 電話〇八六三(五)
店主 芝原耕平

購読料 百一十円
 三月 三十円
 六月 六十円
 一年 一百一十円
 発行所 水野勉
 発行人 水野勉
 印刷所 水野勉
 編集者 水野勉
 印刷者 水野勉
 電話 〇九八八
 亞爾然了時報社

DESPENSA "TOKIO"

MERCADO DEL PLATA

Carlos Pellegrini 279

Unión Telef. 5814, Lib.

東京食料品店
 カルロスペレグリーニ街
 二七九番
 電話ウニオン
 リバルター 五八一四

日本食料品
 罐詰類一般
 干物類一式
 菓子類色々
 薬品類色々
 化粧品一式
 反物類様々
 楽しいお正月を迎ふる
 ために日本から
 色々な品物が
 ましたから皆様に
 知らせを致しませう
 及ばれに及らぬ中に
 特注文下さい
 尚ちん 餅の片用中
 に応じます

Fujisaki & Cía.

LAVALLE 1268

BUENOS AIRES

Union Telef. 0519, Mayo



MATSURA TRADING CO. LTD.

IMPORTADORES
ARTICULOS GENERALES DEL JAPON

Casa Principal: 52 BENTEN-DORI
YOKOHAMA
LAVALLE 341, Escritorio 107
BUENOS AIRES
U. T. 31, Retiro 0985

MIGUEL LAICO

MAIPU 234

U. T. 33 Avenida 1164

通関手続人
ミゲル ライコ



Iida y Cía. Ltda.

(TAKASHIMAYA)

Importación y Exportación en General

UNICOS AGENTES DE
FURUKAWA ELECTRIC CO. LTD
Calle Cerrito 254/56

U. Telef. 3419 Mayo

Bs. Aires

Farmacia

LA VICTORIA

La que vende más
barato y atiende mejor
a los japoneses

PATRICIOS 1600

薬舖
目薬
鼻薬
歯痛
頭痛
風邪
熱
下痢
嘔吐
一六〇〇番

LA ARTISTICA
CARPINTERIA MECANICA,
TORNERIA Y FÁBRICA DE SILLAS
DE TODAS CLASES

de PANTANO Hnos.

Se hacen instalaciones en general, muebles de
todos estilos, antiguo y moderno, ascensores
arañas, tapicería y escaleras de lujo etc. etc.

Juan Jaurés 350

U. T. 1216 Mitre

G. YOSHIO SINYHA

REPRESENTACIONES
Especialidad en Sederias

Galería Guemes Escrit. 457
(Entrada San Martin)
U. T. 6290, Av. Interno 190
Buenos Aires

FARMACIA

DE
MIGUEL POLAK
Químico Farmacéutico
M. GARCIA 400
esq. Patricios
U. T. 2827 B. Orden

木原亭
前田屋
値段が安い
只集が良
手前が良
手前が良

インクモリ行
通関手続人

ENRIQUE MOREIRA

Despachante de Aduana
Importación y Exportación

RECONQUISTA 144
Escritorio 21 y 22
U. T. 3883 avenida
Buenos Aires

本多兄弟商會
JIRO HONDA Y Hno.

IMPORTADORES DE ARTICULOS
GENERALES DEL JAPON

PIEDRAS 524
Buenos Aires

Dir. Telegráficas HONDA Bs. As.
U. T. 2281 Avenida

HOTEL SKANDINAVIEN

1558-LIMA-1564

RESTAURANT A LA CARTA

PRECIO FIJO
1.20
SIN bebida

みずがおいしい アラヤ
コンスタントの林を
ふかめつ、天女とまかふ
乙女等の奏する日本
音楽をバックとして
遠来の音人として
うた、東洋情調に
したし、お楽しみ
を小 献ぐか
片未遊成

VENTA DE BILLAR

"BRUNSWICK"

ブルンスウィック
印ビヤール一式、
取次販賣
日本人指居之限
行レ、店ヨリモ
本家本在ノ賣
價ヨリモ更ニ
二分割引致シ
マス尚他、マルカ、
モノ販賣致シマス。

S. KODAMA

CORRIENTES 3156 Buenos Aires

U. T. 62, Mitre 8826



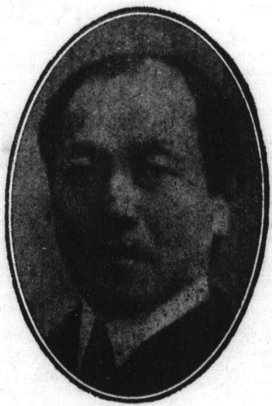
FARMACIA
Circuitos de Obreros
DE
SANTA LUCIA
de PEDRO L. TARANTORA

U. T.
5527. B. ORDEN
Av. MONTES de OCA
No 322

本商店日本人會事
務所から半丁の処に在
ります、日本人各位に
特價で薬品並に化粧
品を販賣致しマス
モンテスマカ
参二二

故丸井三次郎氏 五周年追悼紀念號

亞尔然丁時報
第二年第廿六号



寫真板の説明

上. 故丸井三次郎氏

下. フォクスアイレス週報創
刊第一号の縮寫

左. 丸井氏辭世の旬
日歳の暮冥途淋と
慶にみず

移

果の暮と冥途淋と
丸井氏

大正四年正月
十四日

故丸井三次郎氏略歴

丸井三次郎氏は明治五年和歌山縣下に住る。幼にして両親を
失ひ東都に出で伯父丸井陸軍中將家に於て養はる。長ず
るに及び海外雄飛の志を立て東京外國語學校に入りて西班
牙語を学ぶ。業を了して明治三十七年海外実業練習
生として亞国に来る。独立独歩亞国事情研鑽の傍ら
日本商品輸入業に關係し晩年に及び在留邦人の將來
を洞察して新聞業の必要を認め大正四年フオクスアイレス
週報を創刊して在留同胞の啓蒙指導に盡せり。
大正九年一月廿四日宿病腎臟炎重りて当市独逸上病
院に於て歿す。享年四十五。

フオクス
アイレス
週報
略歴

丸井三次郎氏は明治五年和歌山縣下に住る。幼にして両親を失ひ東都に出で伯父丸井陸軍中將家に於て養はる。長ずるに及び海外雄飛の志を立て東京外國語學校に入りて西班牙語を学ぶ。業を了して明治三十七年海外実業練習生として亞国に来る。独立独歩亞国事情研鑽の傍ら日本商品輸入業に關係し晩年に及び在留邦人の將來を洞察して新聞業の必要を認め大正四年フオクスアイレス週報を創刊して在留同胞の啓蒙指導に盡せり。大正九年一月廿四日宿病腎臟炎重りて当市独逸上病院に於て歿す。享年四十五。

故丸井三郎次郎 五年忌追悼紀念
亞爾然丁時報 第二千六百號 大正十四年一月廿四日

舊友
舟葉君を
思ふて

玄波生

故舟葉君は日露戦争開始の年二月四日當地に到着し、その其時からの知人であった。彼は農商務省海外實業練習生として古川大幹君と共に美國紐約にて英船「ハス号」にて渡航して来たのであった。其頃、予には日本人は予一人であつたが、彼の同胞が来るにつれて、予は愉快の念を以て其日を待たず、予は彼等の到着前、下宿屋を定めて、船より直ちに其家に案内した。其後、毎日の如く相會見して、数年間極めて親しい間であつた。彼の最後の数年は、彼自ら隠退して餘り相見えざりし、予も彼は年長でありながら常に予を尊敬して呉れた。日露戦争時代は、我等在留日本人の極

樂時代であつた。予の如きも商店に勤めながら優遇せられて大學通學の便宜を得居り、亞國人間に知人多く、夫等の日本に同情するものより、深厚の友誼を以て迎へられ、且、毎日の如く名家の宅に招待せられた程であつた。此んな機であつたから、舟葉君が日本の輸出家と關係あり、故來れど商賣する為め、實本家も容易に附く事が出た。嗚呼、惜しむべきは、舟葉君は商人に非たず、唯、其の彼は文學者であつたのだ。其後の彼の活動振り、皆、其の証と居る。死前、數年彼は週報を創刊して、夫れを「世の事業」として、艱難を思ひ、勉強して居た。予等は彼に歸國を勸むる事、數回あり、耳に聞かされた。彼は生活難のため、世の惡評を免れる事、出来なから行動した。併し、彼は唯、法心を違へた為め、不幸者であつたのである。彼は能く同胞を助けた。自分の苦痛を脱せ、常に他人の世話をして居た。確かに彼の良心は、立派に武士的であつた。彼は週報を創刊して、大に希望があつた。が、遂に、成すに到らず、死を以て、去つたのは、遺憾であつた。

故丸井三郎君と
「エニスアイレス」週報

Y生

懐く、母國を去つて、遠くこの南米の亞爾然丁に、迄来たもの、病魔の留す所となり、終に志空しく、ヨハンバウエと化した邦人の數は、頗る多し、商人あり、労働者あり、種々雜多の人も、網羅して居るが、其の中に新聞事業に關係するものは、少く、ソレは、週報創刊者の角田利次郎君、日亞時報の大宮司善五郎君及び、週報の經營者丸井三郎君の三人である。而して新聞事業に關係する此三名の一人が、揃ひも揃ひ、宿病の爲めに、事業中途に、長逝された事を、考へると、私はその不可思議な運命を、考へたに、居らぬ。

つたものは「チャカリー」の石碑と、愛讀者の本箱に残る「エニスアイレス」週報のみである。其所で私は丸井君の五週忌に際し、同君が生命を打込んて、愛育された「週報」を、公平な立場から批判し、以て君の五週忌を紀念したと思ふ。

予は在留邦人の數少く、當國に於ける、新聞の經營は、至難な事業の一つであつた。ソレは、常に、缺損勝ちの引合は、高費ではあるが、其計畫者、唯の慰安、精神的方向にある。即ち物質的に得る處は、極少く、其紙上は、自己の主張、主張と自由に発表し、得られる快味がある。而して新聞紙上で発表された記事は、總て其の計畫者の思想なり、人格の次第、報告である。其計畫者の立場から云へば、其新聞の價値は、定めて、唯一の標準は、其の内容である。其新聞の外観が如何に貧弱でも、その内容が充實なら、(次頁(續))

故丸井三郎次氏 五年周忌追悼紀念號 亞爾然丁時報

大正四年四月廿四日

第六二號

居れば吾々はソレで満足が出来ぬ。其所で以下私の述べん来る。其所で以下私の述べん来る。其所で以下私の述べん来る。

一 殖民地に於ける邦人新聞

聞の生命とする所のものは「社説」であるから社説のない新聞は其の生命の價値が半減されておると言つてよい。で私は先づ最初に週報の主義主張であつた社説を調べてみよう。

週報の言論欄で丸井君

の筆にならる社説の多くは「越山」の名で出てゐる。而してその主張する處は常し「日亜の親善」と在亞邦人の向上發展の二思想から来て居る。

果的に皆 排日問題に因縁

入つておつた様に相成はれる。日」と云ふ問題が根強く這入つておつた様に相成はれる。

其所で丸井君が執筆された日亜関係、移民、日本人會、西語研究、技術家養成、教育機關及び購買組合等々の諸問題に就ては大正六年より全八年末迄の週報紙上に於て忌憚なき君の意見を説く事が出来る。殊に昨年四月日本會で問題となつた購買組合の如きも越山氏は大正六年十月の週報紙上で其成立の必要を説き日會の基本金と流用して之に使用すべしと主張されてゐる。亦單に社會問題に關するのみでなく農業及び商業方面にも君の卓見を遺憾なく發揮され最近邦人間に問題となつた亞國の棉花に關しては越山氏は大正七年四月廿七日の紙上で亞國棉花の有望なる事を邦人に知らしめておられる。亦、政洲大戦當時邦人商人間の問題となつた亞國古鉄の輸出問題も越山氏が先づその有利なる事を紙上で紹介されたに原因するところ

週報紙上で丸井君の努力の跡

の明瞭に見えるものは外國電報の翻譯と亞國事情の紹介であつた。世界各國に起る重大事件は極めて政治に報導され、たもので當時政洲大戦の戦報が如きは西語を譯せざる者には實に有益なものであつた。

さて日本内地新聞記事の轉載

もする等は君の潔しとせられた事であつた。亦、亞國の事情を讀者に識らせる爲めに政事、宗教、地理、歴史、風俗習慣等に關する記事も努めて掲載され在留邦人を益された事は非常なものであつた。

言論欄や電報欄で新聞記者としての手腕を揮はれた越山

氏は亦一種の社會記者であつた。逝ける紅雲の門弟であつた舟車丸井君は紅葉一流の筆名からな筆でもせられた社會記事は君得意の文章であつたと見える。そして私に言論欄や電報欄で見ると君の社會記事の裡に、より多くの眞實の丸井君を見出したものである。『イツサイジ恋』の南米一代女野村おわか、日本發展史』及び訪問記『吾等の人生』等は趣味の讀物として讀者を喜ばしたものである。亦、『青鞋』及び『冠者』の署名で發表された『寸鉄先信』、『フェイスレス便り』、『放言放語』等は隨分讀者を驚かしたもので、日本會に對する注意、貿易協會に對する攻撃等、邦人社會に問題の種々時々の事は教養かつ多。亦、丸井君は一個の詩人であり文學の好愛者であつた。が私にはその行く道が大変異つておつて二人の間には思想的に能常に距離があつたに拘らず私か曾て榮刊した文藝會のハンフレット、『アカシア』

(次頁へ續く)

故丸井三郎次氏 五周年忌追悼紀念號 亞爾然丁時報 大正十四年一月廿四日 第二卷第廿六號

等に対しても常も同情を以て 應援して呉れた。 君は非向をよくし、影法師の 号でを発表して居られた。亦 週報の記事と異彩を放つて かつたものは競馬と玉突き記事 であつた。それと君は此等深い 趣味を持つて居られた。亦故丸井 君が努力された事業の一つは西 語の教授であつた。當時同君が 西語を教へた邦人は随分 多い事であつた。君は單に夜 學校で邦人に西語を教授され るのみで無く、週報紙上に西語 欄を設け、亞爾然丁時報日本と 紹介する事に努力された。

其當時労働問題に關する 三羅坊 邦人發展問題で 小松慶也氏時幸問題の麻 野法書學士と横道金二即 氏雜誌では大阪外国語學 校の鹿野久市郎等の人が 有益なる記事を週報紙上 で発表して居られた。其他、 荒井金太郎、平松輝太郎 海福秀夫氏等の記事も 紙上で見受けられた。亦文 藝方面では學生、城南隱士 甘田磯太、門場、京太郎、 南米生等、其他教員も 寄書家があつた。

度には千有百ペンの収入があつたと 聞かれて居る。而して其廣告主は 單に邦人のみでなく「カステル」や 鉄工場で有名な「コリンズ」等 の廣告は愛讀者諸君の記憶 に新しい事であると思ふ。 君は私に数年前の丸井君と起 相するところの「サンフランシスコ」街の週 報社で、一室で黄色い顔をして、 「ウイスキー」を飲みながら、老眼 鏡をかけて、鉄筆を握り、 筆を動かして居られた丸井君の姿が眼 前に浮かぶ。(完)

故丸井先生の想出

佐伯亥久三

一九〇九年の昔先生はサンルイス 街の住宅で「ミスバチン」の仕事を 管んで居られ私はビクトリア街 三千番で邦人最初の竹細工業 とやつて居つた頃の事ですが何 分其頃の在亞邦人と云ふのは 十名足らずの人救で、毎 日曜には皆が酒や魚を自費 で私の宅へ集り皆で一所に料 理をして盛んに飲食したもので ず。亦、其頃先生の宅には 常も四五人の食客があり、食事 の時間にはよくやつて居るの で、私が先生は喜んで皆を迎へ、 食と共に居られた。それは或 日曜の事であつたが例の様に四五人 の人が私の家で飲食した場、向 橋向ふのバラックへ行くと思つた 馬車に乗らぬ一用で、入り、其 時セントロの一人の俗名「ドマン」と云ふ方が、帰途馬車 の中で八百屋をはじめて大騒ぎを 起した。私も一度その手にかかり、 先生は大変困つた事があり、一 たび先生は常もニコニコと、あ、 惜むべき人を早くと、今以て忘れぬ事か出来ぬ。

丸井君は新聞経営の上手 なるであつた。で君は週報の 主筆と称するよりも寧ろ「ア ドミニストラル」に直當な人 であつて君自身もそれをよく 承知して居られた。其所で丸井君 は努力して寄書家を得る事、 心懸けられ、其結果週報には 多くの「ゴラバード」があつて常 紙上も賑はし新聞の内容も 充實する事非常なものであつた があつて、特別号を發行する

兎角、故丸井君の経営した 週報は活気があつた面白有 益な新聞であつた。君は在留邦人の殆ど全部が丸井 君及び週報に同情を寄居ると 言つて決して過言でなからう と想ふ。其の証に週報社で丸井君が發刊した新年号、 亞爾然丁時報、天長節 号には非常な澤山な廣告 があつて、特別号を發行する

故丸井三郎次氏 五周年追悼紀念號

大正四年一月十四日 亞爾然丁時報 第二卷第六號

丸井三郎君の絶筆

池田誠造

丸井君遊いてまる五周年になる。

水野君が五周年追悼紀念追悼号に何にか原稿をよこせと云ふ。わたしは丸井君とは纏綿した可成り深い関係があつたからそのあまりに苦い事に当惑する位だ。私を追悼号を出さうと計画し既に着手して一面は出来上つてゐたけれど一方には病人の事があり一方には新年号もめまろ後れるし種々な事情が爲めに一切合切水野君に依頼する事にした。水野君も亦心よく承諾してくれた。そこであたりが集めた主なるものを抜萃して「亞爾然丁時報」に寄稿する事にした。

越山としての最後の論文 團體勢力の運用

大正八年十二月三日週報所載

團體は軍隊と同じく勢力の中核なるものである事は云ふまでもない。團體は即ち小勢力の集合して其等の合同が程度に依つては巨大なる善悪の結果を携りし(齊し)来るものである。然れども集合の衆と林せらるる者如何に多数集束中して一定の目標に到達する事が難い。地球上大に政治的勢力の本家本元なるものあり。労働者あり少くは縣人会あり。同窓会あり少くは團體である。此團體執力の伸張は組合人々自らの希望する處にて自己の属する團體の力に頼りて各自の向上を計ることあり。社会的地位を保持し得るものもある。然るに従来是等の團體の運用宜しきを得ざりたる團體因子が目標をへて進歩する事能はず。却て此團體に加盟せしめたの光榮を被り例も少くはなかつた。一國家にこれ例を見んが、墾利國民は一片のパンにさへ餓え、露國又過激派のシヤク軍は主目標の正義なるに關し、今日は何と語らざる敗軍の將となつた。軍國主義の独りの特長は何の、ウヰルソン大統領

冠者としての最後の筆

冠者生

幾度となく繰返した十二月十五日、幸福にして本年も日前に見られる。不幸先も生活難も出来得る限り一方に押し込めて例年の如くナヒヤントを迎へ新年を喜ぶ武市の人々、江戸気質の似たりと稱し、羊羹を食入し、初經食ふ意氣さくとも子供には玩具を贈るはぬのは、セシラスといふ、レッセの名の下に相席を祝となえ、減價市や活字をこまめに(後略)

五年忌や 猶もかややく先頭 浦田折庵

五年忌や 猶もかややく先頭 浦田折庵

の四訓金と云ふれた。軍國は牛肉は高し。が人肉は安い。マドリットにはバカが新開もなかつた。新聞は處世のパンを新聞を食へなくならぬ。さき月吾人も二週同新聞ふりせ流し、全全で読む行く様だ。と歩ゆを、今日のマドリットもかやと察せらる。女帽子は千差万別だ。血糸のキワラツク、ベラ帽子に長履で、テール掛に用ふる黒色の油引布を巻いて飾りとして居る。此日君の頭がテラ様の見える(後略)

當時に於ける世界は、ラッパを在留同胞の時代思想を、如きは、讀丸の面白くはなかつた。しかし之れが丸井君の最後の筆が十二月十三日土曜日の最終として、その次の週間からは僕が執筆編輯になつて居る處と見ると丸井君が揮毫の勇と十二月十三日近かつた振るふが、他は、ついで、尚は一九二五年八月十八日、故て、丸井君の上つた、ゴエス、アレス、週報、二、三、は、そのまゝ、カットして出す事にする。丸井君は至極くガツク、バラツク人であつた。吾々も其の意を、載して、ホッタルメンテに何事とやらやつてつた。これに永遠に故人の恩意、尊意でもあり、又追善公表でもする。

一九二五年一月二十日脱稿

故丸井三郎氏 五周年追悼紀念號

亞爾然丁時報 第二十六號

大正四年四月廿一日

師としての

丸井さんを憶ふ

泊哲男

丸井さんはハツキリした講義を
する人であつた、其父法の説明等
は深刻を極めたものだつた、今で
も若し生きて居られたら日本
人中、五指を屈する西語學者と
して在苗同胞の誇りであつたら
う、實際丸井さんの講義を聞
いて居るとそんな気がさした。
金沢一郎や酒井鮮洲の設話を
指摘される時の丸井さんは口が
よがんで瞳が熱く見えた。半
分位はげた頭に一本の長い髪の毛
がもつれる時よく丸井さんは指で
頭を撫で撫で講義を続けた。丸
井さん其時の細長い指を見る時中
も出まきいかに丸井さんにはや
り又キ焼きとアイスキーが一巻
の御馳走だと思ふ。是れから独自者
の僕に代つて出来る。

丸井さんの事業の一つ宛を今、水
野氏と益谷氏とがやつて居られる。丸
井さんは知識の廣い父、その父思想
的の深さは大野氏や天野氏に劣
るべく歸る僕等を送つて呉れたら
つて居られた様だ、だから何れか異

夜が遅くあつた。金に込められた
て歩いてはいけぬ等と注意され
た。御親切には有難かつたが、持
つて歩く金もなかつた。其当時の僕等
に苦痛がなかつた。十銭の電車
賃を大車に握つて歩いて居たの
である。

酒好き丸井さん、今若し
る事好き丸井さん、今若し
生きて居られるならばアイスキー
の一本位さへ上げたものであるが
………と思ひ出されて生きね
ばならぬ僕等も不幸であるが丸
井さん不運だつた。

其当時の生徒達も欲吉居るに
田原りり各々其生活を築いて杜
會の表面に働いて居られる。
僕に代つて相當の涙淵田折があつた
が其頃からイルコエンの玉台で王
とつた御蔭か知れぬが今も
独身で居るか、食道に通つて
居られた丸井さんに満足な御馳走
は出来ぬが然し丸井さんにはや
り又キ焼きとアイスキーが一巻
の御馳走だと思ふ。是れから独自者
の僕に代つて出来る。

丸井さんだつたか今でも僕には
明確に鮮やかなる。只丸井さんと思
ふ度毎に何時でも先賢者の悲劇
と云ふ事を思ふ。其内に生き長
らへて居る者に取つての感激があり
鞭撻である。

丸井さんをお思ふ時、書け可き
事は沢山あるけれど、与へられた題
目のもとに与へられた紙数は、是れ
に於いて僕等は今度の水野君の
事を讀する一人である。(終)

丸井さんの開いた

西語夜学校

鈴木 駿一郎

丸井さんがスペイン語を夜三ヶ月
速成で教へる計画があると言ふ
噂を聞いて、当時、此と此位きり
知りなかつた僕が一面識も無い間
柄であつたが、教はりに行つたのが
始り、知り合になつた。

當時僕は郊外に暮して居つて電車
を乗り換へて一時半位は掛つた所
約東の三ヶ月間は一度も休まず所
謂第一回の卒業生となつた。訊た
でも僕の外に一人所謂第一回が居た
名は忘れたが此の男は僕に勉強
家で三ヶ月間で新聞を讀む位に

なつて居た。其の後フランスに行つた筈
である。

僕等の後夜学校は丸川ウチノ街に移
つて大々盛況になつて、現今でも丸井さ
んから教はつた其時の生徒さんが所
に見受けられる。

今考へて見ると只々西語を教へて貰ふ
許りでなく、生徒の連中が仕事をな
くすると、先づ第一に其の解決問題を
先生に持ち込んだものだ。先生と未だ
ら生徒や弱者や無知な手合ひから
頼まれど何でも、此れでアルセンシ
式に簡単に受け合ふたもので、此れが
未かぬるとか、断る事は一切なかつた。

西語修得よりも自己の食糧問題の危
機の場合や、現在よりより良し仕事に
を並列して貰ひ度のが本根で生徒にな
つて居る手合ひ等は先生の安請け合
ひ不平を漏す者が大分あつた様だ、何
んかよく丸井さん小面御事、此れを
小持ち込ませ水でいぢ、満足する様
に処理する事が出来得様か。

現今では吾々同胞は経済的にも又各
民族間に於ける社会的地位に於ても
十年の昔よりは遙かに向上発展して
誠に隔世の感があるが昔時同胞發
展の指導者として故丸井さんの右
に出づる者はなかつたと思ふ。

原さきわれを
淋しからせる五週一
浦田折庵

故丸三井次郎氏 五周年忌追悼紀念號
 大正四年一月廿四日 亞爾然丁時報 第二廿六號

温容如春風

松葉生

改丸君の五周年に當り懷舊談を書きたいものと思つたが君と小生とは拾数年間の知己なりにも物分が生が負ふ暇なく相逢の機少かりきびびりて昔懐を叙する材料と更に持たない。君が在亞拾年間の効績は今猶在留同胞の耳目に新なることなれは君の事績を葉々として屋上屋を架する煩を避くることとしよう。想へば拾四年前生が風來坊にて飄然カロスベリリニ街に在った雜貨店新日本を訪問した時君は同店の店員であつた。店主安田氏の好意で小生の爲めに其夜飲食店と設けられた。酒三行耳漸く熱する頃君が滑稽な縦横口を衝て出づる快談は君が尋常のまに非らずその第一感を生に與へた。最後に君は生と祝福すると云はれて

司は九松葉はあやかりものよ 枯まてえ落ちても夫婦づれと歌はれたが朗々たる音吐軒昂の風来今猶目前に髪が舞し

其後君も同店を辞せ九生も當市を去り東洋西泊音信も絶へて居たが生が當市に歸來した時突然街の上君に邂逅した。立談少時相別るに際し「アはヒヤモンテ街の假寓に在り同街を西へ西へと来て訪問し玉へ」と云はれた蓋し君は當時ヒヤモンテ街三四に住はれたるなり。君の寓居を訪問せず其後又永らく音通と絶つて居たが或る夏の夕暮再びサンボアン街のアルセンにて君に逢遭したり。米の袋を左手に持ち綱を杖尻右手に携へ其頃問題となり居りし Impuesto Unico に就て生の爲めに滔々半時間餘の講義を試みられたり。一別香然其後温容を見ざる久かりしが最後に最取られたるは「悲報」君は最早地上の人に非らざり。人物は四滿趣味は夏南訪客を以て對座一番春風自ら坐間に満つる思いありたるは蓋し君が人徳の然らむる處であらう。

知るもの何人も君の善美を称し後五年多教同胞をして懷舊の涙を灑がむるも偶然ではあ

十三四年ばかり前の事だつたと思ひ外が丸井先生はアルセンチンへ来りて後曾て母校の西語同窓會誌上に青年訓といふ題で一文を寄稿された事がありました。それは題の示す通り色々青年學生へ與へた訓言で海外生活は學校の窓から空想してゐるやうな生やさいものであ

若し時代に勉強修養の足らぬ者は駄目をシカリなればいかぬと云つた意味の事か諄々として説かれてゐたやうに記憶します。生來達観であつた況して三十歳前後であつた私は先づ讀んだ時、南米の小巴里に居らるる一先輩が妙に笠苦しい修身講義のやうな通信を讀んだ位にしか思ひませんで

私は丸井先生と青年訓のことは幾も年か後私に運命の浪に漂ひつ、此アルセンチンへ流れて来りました。其處には丸井先生が居りました。私當時タルカワ街に在った週報社

青年訓を棒讀した私

G.S. 生

で一度先生にお目にかつたせりで田舎へ這入つて了ひ再び見ゆる事ができませんでした。そして田舎を漂泊してゐながら私は風の便りに先生の御消息と耳にするばかりで、此度、の名を聞きたび毎に此度、日本で讀んだ先生の青年訓のことが私の記憶を呼び起すのでした。そしてあの青年訓こそは先生が長い間の海外生活に於て味得られた貴い金の玉の文字であつたのだと私は独りで肯定してゐました。私は先生の青年訓を書いた真意が那辺に在つたか、小事が初めて合點行く気がして感得ます。それと同時に青年訓を棒讀した時代も懐かしく思ひます。

五周年句 浦田折庵

舟葉忌や かぶらよせたる永佳人

越山忌や ひと癖ある顔そそ

X X X X X X X

大正四年十月十四日
 故丸井三郎次郎追悼紀念號
 亞爾然丁時報
 第二卷第六號

故越山丸井君の
 思ひ出

浦田豊治郎

故丸井君の遺年忌に際して水野兄
 から追想文と書けと云ふこと、僕
 は一友人として短く厚い交誼の中
 から只、逸事と書きて見たと思ふ。

一で八ツの雅號

君は三郎の本名の外に舟葉、越山
 扁者、青蛙、影法師、秋陽、及
 郎、入墨の金太と自称記銘して
 いまそれを解釈すれば、舟葉は故尾崎
 紅葉先生が命名されたものと聞
 居る。が越山は社説の辟頭を書き
 つけた時、冠者は放言放語欄に用
 ひ青蛙は寸鉄片便欄に銘す。
 影法師は書翰文に使ひ、秋陽
 は俳句、三太郎は和歌、入墨の金太
 は小説欄に印したと記憶して居る。
 後入墨の金太は荒井金太氏と抗
 議あつたときで、入墨の典五郎と改命
 した。その内で最も指導的の書
 たのは越山の名で人の度勝をえつ
 たのは青蛙で筆誅したのは冠者の
 名であるが、素破扱いたうは入墨の
 金太の雅號であつた。

雪隠は社説の考案所

学校とか工場とかで業に倦むと大
 方は刷で慰む、または怠惰を散
 ずるの常である。が其正反對に他
 強家も亦、雪隠を利用して云々、
 話で有名な永井荷風教授は曾て
 在銀正金銀行支店に在勤の時
 二時間も雪隠で人目を偷んで讀本
 に耽つたと云ふ様に、丸井君も上
 曜日まで社説の原稿を放棄して
 置いて土曜日に成ると原稿なした勝
 寫版の原紙に書いて得意がつて居た。
 そうして二行程、書きかと思ふ其の
 後、雪隠で考案するの強ど、毎
 日曜日まであつたので、僕も雪隠の
 口に支那人式に社説考案所と貼
 紙で丸井君と苦笑せしめた事もあ
 つた。

病院で生き別れ

僕は横濱君の紹介状で病院訪
 問の許可を得丸井君に面會した
 のは一月中旬の初頃であつた。當時
 僕は田舎の風景や桃の話をする
 君は、その桃を一つ欲しかつと、名を白
 い手と伸ばし、のびのびとあけさげ

丸井君が週報を
 起した動機

大関昌之佐(談)

丸井君を知つたのは明治四十年頃
 横濱の谷商店と代表して、當市に雜
 貨店を開業した時であります。以東親し
 く交際し、結ばして色々の話があり、
 右の題の下に感した儘を話してみたいと思
 ひます。或日の事であります。
 「大関君何かいい仕事か、いか」
 と私に相談して来た。
 「仕事ハ成事もあるが在留同胞將來
 のために何か大きな事をやつて貰ひたい

して居る気の毒に感じた。これが僕
 の最後の別れで死した事は知らず
 再び桃一籠携へて面會に出武した
 時は、はや茶式した二日後であつた。
 こんが訊であるから僕は君が死んだと
 は思はれぬ。友の誰かが先ぢやん、
 町へ買物に出たから待ち給へ、直ぐ
 帰らうから……。
 それでは香しい夕やけの園の空を屋
 根と壁との四角な間から眺めて……
 待ちませう。先づ大頭を撫で……
 酒と海老を提げて
 「ヤア末永君五年たつて」
 と叫びつゝ、来るやうに思はれて……

と私の希望と違ふまいか。すると
 私に死の意思を吐露した。
 「在留同胞將來のため持た社会奉仕
 の一端として新聞を経営し、漸次
 印刷業に着手し、以て母國の有力
 者と結び、西字新聞を起し、排日
 問題、人種問題、及ぶその他日本
 人に對して不利益な問題の起し
 際はそれに對抗せんと云ふ」
 こんな目的から一歩の階段を踏
 み始つたのは、ブエノアイレス週報で
 あります。
 箇様な前途遠く目的で
 起したのですから、當て中村公使
 は君に出資するから他に然る可き、
 高買でもしたり何うかと思言
 に及びました。君の主義に違及
 する、断然辞退したと云ふことで
 あります。斯くして日本人のため
 に盡くさんとせし人をせし事は、
 五周年、今日猶一層痛切に惜
 しいと思つてあります。

折庵

五回忌や

子まで亡くせる偽戀者かな

故丸井三郎次郎追悼紀念

大正四年四月廿四日

亞爾然時報第二卷第六號

故丸井君

諸橋生

丸井君の中學時代

であつた(了)

○夏雲奇峯多し

其處に宿る乎君が靈

故丸井三郎君は丸井中將の甥で今の政務次官中村武穂氏の談られた處に據れば今の朝日の下村宏氏もか全家に有閑番をして居て丸井君と共に大に法螺を吹き合つた一人だ相である。

初め讀賣の記者となり尾崎紅葉の門下に入りたりてなが米西戦争で比律羣島展戦が盛んになり西班牙語研究もソソロ擡頭し掛けた頃丸井君は野心勃々語学校に入り今語の研究に掛つたが其間に比律羣島展戦のため全君は農商務省官費練習生となり並亞國に渡つて来た。一マア今から廿四年前か記憶する。其後高商學にたり輕業師の科に入った。其時晩年新聞を創め南米第一米邦の邦字新聞と感張つた。先にも種々の評判のあつた田中ではあるがよき他人を世話し又主義の爲めには誰とでも戦ふ遠慮なくに攻撃を行つた頗る痛快な男

緒方義雄

日露戦争がすんで間もなく僕は亞國海軍省から招聘され練習船サルミントで着亞す。中村武穂氏は曾て青山四聯隊に居られた。方三郎中佐の息子でふが。はれたから、さうだと答へたら大要大となつた。と感慨無量な体だつた。その僕が幼時の記憶を呼び起すと丸井君の十七八才の中世時代の併が現れて来た。同君の伯父に當る丸井三郎中將は當時、姓が三聯隊に勤めて居り、同君の伯父に當る丸井君の父も親しい間柄だつた。伯父の家から築地の或る邸に往つて居た同君は何れも僕をよく僕の家へ来た。八つも年下の僕を、義母さん、おつて可愛がつて居た。丸井君は伯父さんに、おつて自持事を賣つて貰つて通學する事を記憶する。

又軍人の伯父の家にも同君は習は馴れろ。この間に調馬が北帯に上手にふつた。毎日三つ朝一時間位四聯隊の將校達の馬を乗せ、朝一時間分、僕は此奇遇と母に早く連絡知らう。アノ晝白の丸井の

息子は一所に心とあやう將來も思ひかられるから用心しなさいと返事が来た。丸井君に見せたら腹を抱へて笑つて

「さういはれるのも無理はない。君の家へ行つても下で湯手に用事を吐けたり位に所征候もしたもつた。かり居るお母さんに煙草の雁首でよく政かられたものだ。止つたのを覚えて居る。

後年亞國に來て縦横に腕を揮ひ晩年連扱社を創出して金種を充ちて八方に布く教を授けられた。丸井君は半生時代から才能を発揮した。きぬぬの田中だつた。君は此奇遇と母に早く連絡知らう。アノ晝白の丸井の

五週年忌 展墓日時

明廿五日(日曜)

午前正九時半左記に

参集

千ヤカリ入口

若くは左記丸井氏墓地

Section 8/A. Mangana 5

Goblen T, Sepultura 24,

Comentaria Oeste (Chacabuta)

パレルモの薔薇園

新尾讓介

私は朝早く起き出で、森と林の屏風をたてた隙間をば朝露で包み閉じた。パレルモのばら園の。眞只中に一人佇んだ。

朝日は東雲を破つて枝葉に宿つた朝露は天の星の様に私の鏡面を輝かし、何處よりもよく音果的の聲は寺院の線香の様に向ふて来る。

後の森の音葉若葉の絡つた樹枝の中から囁く鳥の群は神秘的な管絃樂を合奏して天女の様に歌ふた紅白のバラ樹は春の微風に踊る水鏡と見ると時は私に此宇宙の柱とふつて。

秘樂澤土が作りだして居ると思つた私は願主創成のはじめの大慈悲、不日大悲の深い群生の面に立つた光明土の拂であるまいか。此一篇の詩を故談丸井君に捧ぐ。

新尾讓介

野球界

野次の感想

野次

攻むれば占り戦は勝ち連戦連勝破竹の勢を以て積年の仇敵亞國球界の雄ス岸フトチームの挑戦に充てての遠征として今度の試合は可成り興味を引いた対戦であった。

往年のリーグ戦では殆んど問題にならなかつたが近來猛練習を重ねて技量に教段の進境を見、ヒムナシヤ及び米船を撃破して気を善くして居る今年には破ることも接戦、幸ひ戦運に見舞はれ水なほ見事に旧怨踏らして亞國球界に其の覇を稱へるとの意気込であつたをうたかり斯く迄惨敗するとは誰でもが予想しなかつた処であらう。

勿論相手は本場で洗練されたプレーヤー揃の強チームと此のプレーヤー揃の強チームと相当苦戦は予測したが彼れでは技量以下の戦積であ

る事は誰人も首肯が出来た。敗戦の原因は力量の相違彼我体格の優劣、グラウンドの不慣れと教へると可なり多くあるからうが技量以下の敗戦に終つた事は他に原因がありねばならぬと思ふ。即ち強敵と言ふ先入観念が有る爲余りに硬くなり過ぎた嫌は無かつたであらうか。若しプレーヤは止むを得なかつたとしても自軍の宿將 稲尾 八月 淺岡 諸氏の様な老巧の士に此の奥が見受けられた事を今更ながら遺憾に思ふ。一塁守備に於ては兎壁に近ソと稱せられ岩崎氏なども此の日は三つの失策重ねて居る事は此の間の何物か語るものでは無からうか。

鉄腕投手 八月 氏の投球も日頃の威力無く、コントロールもなり乱れて居た。稲尾 捕手から受けた低ソ近ソ目の球のサインに依つて投じた球が胸の辺を通つて安打と成り得意の外角曲球もコーナーを通らずに外に出る事が多くなって來

が甚だ思はしく無かつた。とりながら同氏の不振は相違に同氏一人の原因以外に味方の守備にも有ると断言が出来ず。野手に凡失多く其守備難きを知らず打たれぬ様に打たぬ様に硬くなった事が同氏の鉄腕を充分伸びさせる機会を失つた原因では有る。半面他の野手の諸氏が余りに一月投手に依頼する傾向が無かつたらうか。どんな名投手でも人間である以上出来不出来の有る事は止むを得ない。殊に當日の三回裏の様に猛打に會つた場合投球の自信を欠き球質又乱れ勝たぬや思ふ。

此の際には味方の内外野手善守して其の欠を補はばならぬと思ふが打たれぬか。混乱して平凡な飛球を傍観して、樂に殺せし走者を生かしたり本塁(送水)は當然走者を殺せる球をラシナリ居らぬ二塁(送)つて

打者	安打	得点	三振	四死	刺殺	補殺	失策
Seefert	6	3	2	0	1	0	0
Gaul	5	3	1	0	0	0	0
Anderson	5	1	3	0	2	0	0
Schick	4	1	2	0	1	1	0
Gaul	5	4	0	0	2	0	0
Cheshic	5	1	0	0	0	0	0
Donnelly	3	1	1	0	1	0	0
Zeitze	5	3	1	0	0	0	0
Malloy	5	5	2	0	0	0	0
合計	43	13	15	8	2	27	21

打者	安打	得点	三振	四死	刺殺	補殺	失策
村尾	2	0	1	0	0	0	0
中野	3	0	0	0	0	0	0
浅野	4	0	0	0	0	0	0
岩本	4	0	0	0	0	0	0
清水	3	0	0	0	0	0	0
合計	26	3	1	9	5	24	18

徒らにランを大きくしては、手も休まる暇が無くてあらう。

此の一戦を以て筆者は八月投手の眞價を疑ふものではな、其の一例として強打者揃の敵軍中でも特に猛打者として知られた遊撃手には一本の安打も許さなかつたの、三振二本を取つて居る、全体に於て十三本の安打を許しては居るか、八本の三振を喫せしめて居る事は八月投手の手腕凡ならぬことを示して居る。然らば何故に當日の同氏の投球に此の様にもむらが多かつたかと言ふ事は一投手の問題でなくチーム全体として大に考へねばならぬ。作戦上の一要素かと思ふ。特に主将としての稲尾氏に此の奥の熟考と此の場合の対策を望む。

球審 中島 鏞一
塁審 工藤 全也

勿論彼の投手の球質の変

化に好味が有り加へてコントロールが非常に宜く容易に安打を許さぬ球には相違無いが早川氏は二本の安打を飛ばし七割五分の打撃率を示して居る彼の投手に全然牛耳らるる程他の諸氏の打撃力が貧弱なるのは此れ迄の戦蹟より押して信ぜられぬ由未大敵と見て恐水も少く大和武士の本領である今少し當つて砕くる気気が望ま

しつた、守備の場合と同様攻撃も諸氏が余りに自遜に過ぎたるは千載の怨である。勝負り時の運とは言ひながら、攻守共に技量以下の戦蹟に終つた事はどう考へても諦められぬ。近く用かれる第二回戦は、てはもつと自由な気持で善戦して、眞價を現はさぬ事を切に望むと共に諸氏の健在を祈つて擲筆す。

投手としての感

捷に飛んでスイングに遠征した吾が野球團は脆くも破れた

脱する事が出来なかつた。想ふに吾が母國に於ける大学チームが対外試合に於ける第一の策戦は前半試合於て得点を先づ精神的に敵を圧迫する事である特に米國人は調子付き易く上り易く國民性を持つて居るから一般に言へば、始末が悪い。當日の彼等は、この調子を維持し得たので勝を得る事になつたのである。固より守備は攻撃投手と共に一段の差があつた。此れ共、要は、打撃の不振に起因するものと思ふ。故に投打撃に關する要點のみを述べ、來る復讐戦に備へ

敵の愚所を突かんと戦意を奮起して見渡すと思ふ。曲球に對する打撃の研習。敵の投手は、ソフトボール、ソフトボールの二種、専門らしい直球は殆んど申訳に投げる。此れ共、高過ぎて正球にはならぬ。振る必要はない。同時に振つても、當る気遣ひは無い。曲球に對しては多くは球に釣られる場合が多い。此れ共、敵の投手に對して都合の良い

ボックスの位置に立つて居るか、此に一言申す。度のは、投手を投げた、いせせる様な位置に打者が立、事である。例へば、打者がホームプレート近くに立つて居る様な場合は、直球で振りせるとは危険である。同時に正球が、出、難、若し曲球で振りせるとすれば、振りされて、四球を取り、此れ共、道に迷ふ様な事になる。スイング投手の如き比較的曲球の大きなるものに対しては、此の位置にある、打者は極めて好都合で、曲球は正球に比して、六割、七割、此れは、揮球する上にも都合がよい。打者はボックスの最端、投手の正面に立つて居る場合は、曲球は打たれる、よ、ソフトボールである、同時に、事である、それは、球が、曲、瞬間を打たれるからである、若し此の位置に於て、球が、曲、ある場合は、正球には、絶、体、に、ない、此の方式より、正球は、各、が、打、者、は、常、に、ホ、ム、プ、レ、ト、に、接、して、立、つ、事、打、た、ん、と、思、ひ、打

者はボックスの最端に立つか若くは二歩位前進して打つ様にせねばならぬ。斯様に打つて打たれれば、より、ヒットにならずとする。此に依つて敵の活動は始まり刺殺する為には或は過失あり果敢に投ありと言ふ形になつて、乱戦を来す事になるのである。要するに打者は從容自若としてボックスに立つ、剛投を投げ、いせせる様な形に立つ事、ホ、ム、プ、レ、ト、に、近、く、立、ち、振、球、す、る、事、必、ず、打、つ、事、の、生、じ、た、る、打、者、は、ボ、ク、ス、の、最、端、の、位、置、に、於、て、曲、球、に、對、し、難、し、い、事、を、起、す、事、を、防、ぐ、事、に、在、り、打、た、ん、と、思、は、れ、る、事、は、三、振、の、時、に、當、り、主、要、は、弱、打、者、に、對、し、て、犠、牲、打、者、である、二、重、の、走、者、を、一、に、本、塁、を、突、か、り、む、す、事、は、此、の、犠、牲、打、者、である、事、は、得、ぬ、は、な、ら、ぬ、以上は私が多年投手として経験した实例から割出して述べたもので、此が最も善い方法である、と言ふ事は、容れ、見、て、は、敵、軍、を、苦、闘、せ、し、め、る、と、い、ふ、基、盤、位、に、な、る、もの、と、心、得、て、差、支、は、な、い、と、思、ふ、其、他、守、備、に、攻、撃、に、不、充、分、の、数、が、あ、る、け、れ、共、要、する、に、練、習、に、依、つ、て、其、の、欠、点、を、補、足、す、る、や、う、に、し、な、く、は、恰、も、壁、面、の、美、人、の、様、に、何、等、の、刺、殺、も、効、果、を、與、へ、な、さ、ぬ、事、である、(一九二五、二、八月生)

御通知

左記に依り會員の親睦を計る為のキルメス河畔に於て、ピクニックを催しますから御家族並に知人御誘ひ合せの上御出席の程を願ひます。

大正拾四年一月廿日

日本人自動車運轉手協会

◎時日 一月廿九日午前八時於茶園天時止

◎集合地 Serrate街のSalsfield街の角

◎食物 各自持参する事、但し酒とアサードは本会より用意す。

◎會費 男子ニ、婦人ニ、子供は無料

◎余興 蓄音器、バイロ、綱引、竽、探、二人三脚、徒歩、競走、バレー、浪花、即

◎入場券 左記の役員が売つて居りますから、當日御持参を願ひます。

- 中原栄吉 *Asuenaga* 1596
- 半田八次 *Sonita* 3409
- 原田静雄 *M. de Oca* 379
- 田中耕次郎 *Patagonas* 567

各位
鋤酒。月桂。冠を誠に輸入致し毎日千客券未の祭日を来し弊店の誠に光栄と致す。此で御座何分数量に限りありませうから、なるべく中へに純く御来光御賞味下さる様願ひします。
ヨリエテス街一二三四
菊水

譲り渡した

先づ以て *Our San Martin* と云は武市極く最近に開けた商売地 *Belgianes* と *Boves* との間中に位した、西迄道路の連絡要又夫であり *Ulla Gonet* と *Rafello San Martin* の通過地でありませう。 *Ulla Gonet* や *Paternalis Ulla Gonet* 等からの集合地 *Our San Martin* の最の繁華な地でありませう。然るに突然、御方の譲り渡して、当店を成す可く日本人の御方に譲り渡すと思つて居ますから、御希望の御方は時を移さず御来車を願ひます。草々
Our San Martin 1580/82
Bazar "Quarantemo"

謹告

今般都會に依り弊店日本食料品部を左記に移轉致し相変ふす。尚様の御用命に充ます
トクマン街一〇九九
カフエ東京内

尚、沢山新荷着特別安價を以て販売致します
夏季営業時間
午前八時より十時迄
午後三時より七時迄

東京食料品店

"TAKASAGO"
TACUARU, 11260 (piso)
御下宿
高砂
月定御膳
致します

Bazar Osaka
Calle Alvarria 672
大阪屋
山元栄治

洗濯店譲り渡さ度

私儀今般會事上の都會依り洗濯店を邦人の方に御譲り致し度と思つて居りますから御希望の方は左記の場所へ御来光をお願ひ致します。萬事は面談の上御話します事と致します。
Luis Obiang Poma 1523

板田末次郎

謹告

小生儀在軍中は同胞諸君の甚大なる御厚誼を辱ふし、今圓掃朝に際しては御多忙中にも不拘遠路態々御見送り被下奉深謝矣。乍辱後紙上を以て御礼申上候
一月二十三日
中津留淺吉
辱知諸覽

明日の野球試合

◎日軍対カスパー
明午五日日曜午後三時より Y.M.C.A. のカンパ (Paseo Colon y Independencia) の角に於て米艦カスパー号チームと試合挙行に付邦人諸氏の御来援を切望す。

人事

- ▲中津留淺吉氏 阿波丸にて去る十六日帰朝の途につかる。
- ▲岡野浜太郎氏 正金支店員、本月廿九日サウザンクロック号にて紐育經由帰朝。
- ▲大野勝重氏 正金支店詰として近々来亞の告。
- ▲マニラ丸本日入港の告。
- ▲御尉書記官、去る十九日歐洲經由にて帰朝の途につかる。

- 國際汽船會社
- 川崎汽船會社
- 三井汽船會社
- 日本郵船會社
- 四汽船會社
- 船船御用商
- グエノステイルス
- 富崎商店

CHACABUOCO 768

春衣
着物
見本一報次券
早急持来
片山洋服店
千カガエ街
七六三番

末廣亭
日本料理
ハトリシオス街
十九番
古川金三郎

CAFE TOKIO

MERCEDES F C O, Calle 20 esq. 15
U. T. No. 191

JUNIN F C P Calle V. Gandini y Rivadavia
Unión Telefónica No. 198

LUJAN F C O Calle San Martín No. 135
Unión Telefónica No. 100

CAFÉ
THE JAPAN

General Hornos 16

U. T. 4540 Buen Orden

日本料理
會席料理仕出し
各種宴会御用
毛布、かまぼこ、すし
すまやき、うどん
せんべい、そば
各種傳事園遊業
たるま亭
松田清中

CAFÉ
NAGASAKI

PUEYRREDON 975

U. T. 8001, MITRE

Bar, Restaurant
y Billares

伊東金五郎
五十嵐俊次
松山水太郎

日本めしや
各種鐘詰類派山
取りまわし致して居る
法辨多配運致し
カルロスパリー二街
七四九

CAFÉ TOKIO
de Hoshida Hnos.
Tucumán 1099

カフエ
東京
日三兄弟

Tintoreria Japonesa
EL TOKIO
de C. MIYAZAKI
URUGUAY 1033
U. T. 1047, PLAZA
SUC. MENDOZA 2480
U. T. 2219, BELGRANO
BUENOS AIRES

高子めし
染物工業
宮崎惟光

BAZAR JAPONESA
DE
Irritzuki y Usui

1876 - RIOJA - 1876

日本雜貨店
入目武
日井知則

CAFÉ
"LA JAPONESA"

BOEDO 827

"La Fratinola"
Café, Bar y Billares
de Carlos Gutierrez
Patricios 1 al 5
U. T. 780 Buen Orden

日本人
運轉手
諸君に
御最貴
願ひます

DR. RABINOVICH
MÉDICO CIRUJANO
CALIFORNIA 169
U. T. 21 - 0940 Barracas

内外科
婦人科
産科
理器科
カリフォルニア
一六二九
ドクトル
ラビンヴィチ


CAFÉ TOKIO

Calle Córdoba 373
Suc. Calle Córdoba 493

Bell Ville
Pcia. Córdoba
中村
鶴辰馬
山の手

Almacen, Shipchandler y Bar de José Tomisaki

CABLE ADDRESS: "TOMISAKI" HERNANDARIAS 1544 UNION TELEFONICA 21, Barracas 1736 BUENOS AIRES



電話 〇〇 〇 〇 〇 〇 〇
電報 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
富奇商店
船泊御用商
雑穀品食糧品

犬も喰ふか？

犬も喰ふか？ 昔カラ夫婦喧嘩
三極ヲ居マシ新婚當時ホヤ時分
小兒ニ角中年老年夫婦喧嘩ト
云モ不実際犬モ猫モ喰ムカス此時
代夫婦喧嘩原因ヲ色々研究シ見マ
テ共ニ中八九迄ハ礼儀ヲ一家経済上
向テカキル原ノ様ニ思ハス松此
事ヲテ家ニ敷置テ夫婦和合兼ナル
事ヲ取テ居マシテ決シテ有
リテテテテテテテテテテテテ
ニテテテテテテテテテテテテ
品ヲテテテテテテテテテテテテ
モ家庭経済ヲテテテテテテテテ
日ヨ必高品アル食糧品價格ハ常ニ
深甚御注意以テ御研究ヲ怠ラズ様
ニテテテテテテテテテテテテ
ニテテテテテテテテテテテテ
ニテテテテテテテテテテテテ
当店ハ雜穀白米類類申スニ及日
用食糧品全部新鮮ナルモノヲ羅
シ当店信條ルル高價廉宜至百ヲ
奉ジテ諸賢ノ御用命ヲ御待テシ
テ居リマス

Dr. KAKUJI KATAI

TALCAHUANO 428 dep. B
U. T. 6076, Libertad

日本人會顧問齒科醫師
片井格次
一般診療時間
午前九時ヨリ 午後六時迄

BAZAR "TOKIO"

DE T. ARIMIDZU
Ventas al por mayor y menor
CASA CENTRAL: TRIUNVIRATO 478 al 500
Un ón Telef. 0127 Chaorita

東京雜貨店
有水藤太郎

THE JAPAN BAR

FIRST CLASS LADIES
ORCHESTRA

Every Evening from
7 p. m.
to 1 a. m.

25 DE MAYO 427 TO 37

新垣徳衛
大城永滿
共営

金澤寫真館
PHOTO
KANAZAWA
Tucuman 1136
U. T. 0792 Mayo
3484 Rivadavia

Sun Life Assurance Company

Of Canada
Bartolemé Mitre 519
U. T. 2092, Avda.
BUENOS AIRES

力多ク生命
保險會社
在日人持約
勤務員
林甚次郎
和モルニテ
電話一六八九
ニルルソ

SASTRERIA "LA BUENOS AIRES"

de Jesus Lopez Castro
generos extranjeros de alta novedad
990 - Belgrano - 990
U. T. 5112 RIVADAVIA

於數年前列日本火指器列沢山ノ
市用ヲ所マハツテ居マシテ特ニ
大勉強致シ於四月及北方法ヲ
列マシカスト洋服店

Dr. J. P. MUNZINGER
Médico Cirujano
178 LIMA 188
U. T. 1154 RIVAD.
BUENOS AIRES

ドイツ病院醫師
日本人會顧問
ドクトル
ムンツィンガー

N. Y. K. Line



日本南滿洲
最短航路
リオ南阿及
新嘉坡經由
番細小記ニ申向
合セテ下サイ

LAMPURT & HOLT Ltd.
Sarmiento 443 Buenos Aires

日本式料理並下宿
菊水
特ニ有定メナクハ
中食ハ日本食
トシテ居レ上ゲテ
北島